

原子力利用に関する 基本的考え方

参考資料①

4月27日からひっそり(?)始まっていたパブリックコメント
この「基本的考え方」とは一体何なのかということ。

参考資料② p.1

原子力政策全体を見渡した、
我が国の原子力の平和利用、国民理解の深化、
人材育成、研究開発等の
分野横断的な**目指す方向と在り方を示すもの**

原子力を取り巻く幅広い視点を取り入れて、
今後の長期的な方向性を示唆するもの

第2章は『原子力を取り巻く環境変化』ということで

参考資料② p.3

1 東電福島原発事故による影響

原子力利用の安全を確保するための取組を着実に進めるとともに、
原子力利用の実績の積み重ねを通じて
国民の不信や不安を軽減することの重要性も顕在化してきている

2 原子力利用をめぐる環境変化

国際的には、(中略)
原子力発電からの撤退や中断を決定又は再確認した国・地域がある
一方で、(中略)
アジア、中近東、アフリカ等において
原子力発電を導入しようとする動きが見られる。また、(中略)
低炭素電源としての原子力発電の重要性が再認識される動きも
見られる。

3 地球温暖化問題を取り巻く環境変化

我が国が、地球温暖化問題に対応しつつ
電力供給の安定性を確保するためには、
低炭素電源である原子力発電に一定の役割が期待されている。

4 国民生活や経済活動に影響を及ぼす エネルギーをめぐる状況

我が国のエネルギー自給率は、(中略)
原子力発電所の停止に伴ってわずか6%程度まで落ち込んだ。
(中略)

エネルギー安全保障の確保は、我が国が抱える大きな課題である。
また、
原子力発電を代替する従来の火力発電の焼き増しに伴う
化石燃料の輸入増加により、
多額の国富が海外に流出するとともに、
再生可能エネルギー固定価格買取制度の導入等も相まって
電気料金の上昇を招いている。

この現状認識を踏まえて 第4章『原子力利用の基本目標について』

参考資料② p.6

我が国の**原子力利用に当たっては、**
平和利用を旨とし、
安全性の確保を大前提に国民からの信頼を得ながら、
原子力技術が
環境や国民生活及び経済にもたらす便益の大きさを
意識して進めることが大切である。

この後、第5章『重点的取組とその方向性』と続きます。

最後に一言

パブコメは6月5日までです。

「原子力利用を考えるに当たっては、国民の方々の声に謙虚に耳を傾ける」(p.6)と書いてありますから、
しっかり耳を傾けてもらおうじゃないですか。

ただ、文書名が「原子力利用に関する」って、利用すること前提で話ができている時点で既におかしいんですけどね。。。おまけ程度に原子力利用に反対する意見があることも触れられていますが、「原子力を利用し続ける」というのが大前提になっています。

その意味で原子力利用を続けたい側の論理が網羅されているとも言えそうです。

とすると、これに具体的根拠を示して反論していく作業が必要です。加えて、この文書で触れられていない、倫理的な面も訴える必要があると思います。これについてはまた次回以降で。

参考資料

①原子力委員会HP 「原子力利用に関する基本的考え方」策定に向けた御意見の募集について

<http://www.aec.go.jp/jicst/NC/pressrelease/pressrelease20170427.html>

②e-gov 「原子力利用に関する基本的考え方」策定に向けた御意見の募集について

原子力利用に関する基本的考え方(案)

<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=095170510&Mode=0>